



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 興石 信
令和6年度 第11号
2024.12.10



中学校から見える南アルプスの山々はうっすらと雪化粧を纏い、季節は秋から冬に歩を進めています。登校する子どもたちにも防寒着や手袋、マフラーが目立ってきました。暦は12月になり、2学期も残りわずかとなりました。

今号では11月と12月のこれまでの様子を、校外の活動に焦点を当て、紹介していきます。

○働くことや仕事について学びました。～2年職場体験学習(11/12・13・14)～

◆ 11/12(火)～14(木)の3日間にわたり、2年生が職場体験学習を行いました。これは、本校がキャリア教育の一環として行っているものです。働くことについてより深く考えとともに、地元である双葉地区の良さや温かさを感じてもらいたいという願いのもと実施しました。こうした職場体験の趣旨をご理解いただき、双葉地区を中心とした55ヶ所の事業所等に生徒の受入についてご協力いただきました。生徒の感想をいくつか紹介します。

＜SAで接客を体験した生徒＞明るい笑顔とはっきりとした声を意識したことでお客さんに「ありがとう」と言ってもらえたところが前よりも成長できたと思いました。人を明るい気持ちにするためにはみんなが聞き取りやすいと思える声と絶えない笑顔が大切だと学ぶことができたので、これからの自分は学校生活でも職場体験の時のようにきびきびとした態度でいられるようにしていきたいです。

＜高齢者福祉施設で体験した生徒＞今回の職場体験を通してコミュニケーションをとることの大切さや自分から進んで仕事に挑む積極性が大切だとわかりました。そして学校生活の中でこの経験を生かして、相手とコミュニケーションをしっかりとることを大切にしようと思いました。また、ただコミュニケーションをとるだけでなく明るくそして優しく接することを意識していこうと思います。

＜小学校での体験をした生徒＞私はこの職場体験で子どもとの関わり方や接し方について学ぶことができました。体験前は自分勝手に自己中心的だったかもしれないけど、体験中や体験後は、子どもや自分より年下の子ども達を優先的に考えるようになったと思います。さらに子どもとの距離の縮め方も学ぶことができました。私の筆箱が児童に大人気でそれもきっかけに仲を深められたので子どもと仲良くなるには子どもが興味を持つような話題を出して話すよと思いました。

＜JAで接客を体験した生徒＞普段の学校生活よりも作業の重要性がしっかり伝わってきて社会に出て働いてお金を稼ぐということはすごく大変で難しいということを知ることができました。さらに接客業はどのお客さんにも平等に優しく接していかないといけないし、理不尽に怒られることもあるから、そういう時の対応力も接客業には必要なことだと知ることができました。



◆ ここに紹介した以外にも、2年生の皆さんのたくさんの感想と写真を見させていただきました。3日間の体験を通して仕事、地域社会、そして今の自分を見つめ、明日につながる多くのことを学んだ様子が伝わってきました。一人一人にとって貴重な経験となったと思います。何よりも写真に写った皆さんの姿はとても素敵で輝いて見えました。これからの学校生活の中で職場体験での学びを生かしていきましょう。「経験」という「点」を「成長」という確かな「線」にしていくのはあなた次第です。ぜひそうあってほしいと思います。遅くなりましたが、3日間本当にお疲れ様でした。

○中巨摩代表で県大会へ出場しました。～英語暗唱大会(11/12)～

◆ 11/12(火)の午後、山梨市市民会館で県の英語暗唱大会がありました。これは支部大会で優秀な成績を収めた生徒のみが出場できるもので、中巨摩地区の3年生の代表としてN・Yさん、2年生の代表としてI・Kさ

んが出場しました。出場にあたっては、連日朝早く登校し、ALTのマイケル先生の指導を受けながら表現に磨きをかけ、本番に臨みました。結果、入賞はできませんでしたが、校長室に報告に来た際は「緊張しながらも頑張れた」と話してくれました。経験は何にも勝る大きな財産です。取組お疲れさまでした。この経験を今後の学校生活に生かして行ってほしいと思います。



○中学生のみずみずしい感性と率直な思いが伝わってきます。～中学生短歌大会～

◆ 3年生の夏休みの課題になっていた「第11回中学生短歌大会」(甲斐清和高等学校主催)で、本校で応募した生徒の中から12作品が入賞(優秀2、入選10)しました。優秀作品となった2名の生徒の作品を紹介します。

友達と未知の世界に憧れて背伸びしている今が楽しい(I・Yさん)

二年半重きを置いた勉強の支えとなった吾が文具たち(N・Iさん)

(※N・Iさんの作品には選考で歌人の三枝浩樹氏からの評が付いていました。紹介します。「勉強に重きを置いて過ごした中学の二年半。そんな日々を支えた、心強い味方が「吾が文具たち」なのである。文房具用品はいわば脇役だが、脇役に支えられ慰められることは少なくない。使い古した筆箱、えんぴつ等々。N・Iさんの目の留めどころに拍手))



◆ 他のどの入賞作品からも中学生らしいみずみずしい感性と率直な思いが伝わってきました。他校の入選作も含め、作品集が図書室(入ってすぐ左)に置いてありますので、一度、足を運んで見てみてください。きっと自分の今の心にぴたっと重なる作品を見つけられると思います。

○県代表として関東大会に出場しました。～第33回関東駅伝競走大会(12/1)～

◆ 12/1(日)、日世南アルプススタジアムを会場にして第33回関東駅伝競走大会が実施され、本校の陸上部女子チームが山梨県代表として出場しました。これは先月初めに行われた県予選の上位5校(双葉中は第2位)が出場したもので、当日は快晴の冬空のもと、本校女子選手5名(1区:O・Rさん、2区:N・Jさん、3区:S・Nさん、4区:N・Kさん、5区:H・Aさん)が陸上部員や生徒、先生の声援を受けながら、初冬の楡形路を力走しました。結果は33チーム中27位でしたが、自己記録やそれに迫る好タイムを出した選手が多く、練習の成果を発揮することができたと思います。



1区:O・Rさん



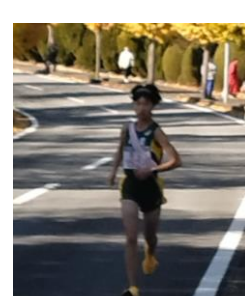
2区:N・Jさん



3区:S・Nさん



4区:N・Kさん



5区:H・Aさん

◆ 私も沿道から応援をしましたが、師走の寒さの中、襷をつなごうと懸命に走る姿には大きな勇気と励ましをもらいました。一つのことにはひたむきに打ち込む姿は本当に美しいと改めて感じました。「関東」という夢舞台に立ったことに誇りを持ち、さらに高みを目指してほしいと思います。

○甲斐市長賞に選ばれました。～甲府税務署管内「税の作文」コンクール～

◆ 12/4(水)、甲府税務署、納税貯蓄組合連合会の方が本校を訪れ、「税の作文」コンクールの表彰を行いました。これは毎年2年生の夏休みの課題になっているもので、応募作品の中から「甲斐市長賞」にK・Yさんの作品が選ばれました。「税に表れる日本とアメリカの違い」というタイトルで、日本とアメリカの税制度の違いは二つの国の社会構造の違いに起因していることや、アメリカとの比較から日本の社会保障制度の良さに気づいたことなどを取り上げ、グローバルな視点から税に関して理解を深めていく様子が伝わってきました。



◆ 税について知ることは社会とのつながりや仕組みを知ることにもなります。いずれ社会に出て行く皆さんにとって大切な学習だと感じます。これからも日常生活の中でも税について考える時間が持てるといいですね。